

科目ナンバリングコード	CetZ112101	授業科目名	西洋美術史 A(2025年度以降入学者対象)		
担当教員名	鯖江 秀樹				
履修可能開始学年	1年	単位数	2.0単位	授業区分	週間授業
開講年度	2026年度	開講学期	2026年度2Q	開講曜日・講時	火曜8限
主要授業科目		クォーター開講科目		セメスター開講科目	

科目分類	表現科目	抽選科目		教室	
授業形態種別	講義	授業実施形態	遠隔授業：オンデマンド型(配当されている時間割の時間帯以外にも受講が可能)		
相関するDP(カリキュラム年度2017-2020)					
相関するDP(カリキュラム年度2021-)	DP-1 知識と理解	DP-2 創造的思考と考察	DP-3 技術と表現	DP-4 他者理解と協働	DP-5 社会への関心と行動
相関の有無		●	●		

科目ナンバリングの説明ページへのリンク	https://www.kyoto-seika.ac.jp/campuslife/class/numbering.html	ディプロマポリシー（DP）の説明ページへのリンク	https://www.kyoto-seika.ac.jp/campuslife/class/matrix.html
---------------------	---	--------------------------	---

サブタイトル
名画から始まる美術の物語
授業の目的・到達目標
(1)西洋美術の代表作についての特徴、作者、制作背景を知る (2)西洋美術における基礎的な概念、知識を習得する (3)作品が生まれた時代や地域との関係を把握する
授業の概要
本講義では、西欧のルネサンスから十九世紀までの絵画様式を通じて美術史への理解を深めていきます。単に好き嫌いで絵画を判断するのではなく、複数の視点から作品を鑑賞する方法も身につけていきます。絵画には時代や地域ごとの特色がはっきり現われていますから、その特徴を丹念に整理しながら把握していきましょう。
実務経験／実践的教育
授業計画
課題揭示：火曜木曜それぞれ朝10時 課題提出：火曜木曜分いずれも翌週の土曜日お昼12時 ※具体的に授業内で説明します。 <div> 1 イントロダクション：本講義のテーマ、授業の進め方とルール、評価方法・基準の共有 2 本講義の全体像について：各回のダイジェストによる論点と作品分析法の解説 3 ゴシック：先駆者ジョット 4 初期ルネサンス：画僧たちの活躍 5 盛期ルネサンス（1）：北方美術 6 盛期ルネサンス（2）：三大巨匠の黄金期 7 バロック（1）：先駆者カラヴァッジョ 8 バロック（2）：フランドル派 9 ロココ：ヴァトーとティエポロ 10 新古典主義：ダヴィッドとアングル 11 ロマン主義：ゴヤ、ターナー、フリードリヒ 12 印象派：マネ、ドガ、ルノワール 13 後期印象派：ゴッホとセザンヌ 14 象徴主義：ラファエル前派の影響 </div>
授業外学習の指示（予習・復習・課題等）

単位制度の趣旨に則り、次に示す授業外学習(自学自習)時間が必要です。 【1単位につき週あたりに必要な自学自習時間】 クォーター科目：講義・演習 4. 時間、外国語・実習 2.5時間／セメスター科目：講義・演習 2.25時間、外国語・実習 週1.25時間 ※2単位科目の場合は上記を二倍、3単位科目は三倍してください。また、演習科目はカリキュラム年度によって授業時間と自学自習時間の配分が異なりますので、シラパスや科目担当者の授業内での指示に従ってください。この科目では授業外学習として、以下の内容に取り組んでください。

単位制度の趣旨に則り、この授業では週9時間の授業外学習が必要である。
講義中に紹介した図版、板書、解説をかならずノートに書き留めておいてください。それらの情報をてがかりにして、関心のある事項を参考文献やインターネットでチェックするよう心がけてください。

評価方法・評価基準

授業参加度（コメントシートの提出による） 5 0 %
レポート 5 0 %

履修条件・留意点及び受講生に対する要望

予備知識はなくてもかまいません。西洋の美術や歴史、思想に関心をもつ方を歓迎します。コメントシートについては毎回丁寧な論述を心がけてください。

購入必須テキスト

なし

参考文献・作品等

若桑みどり『イメージを読む』ちくま学芸文庫、2005年（978-4480089076）。
高階秀爾『近代絵画史（上）』中公新書、2017年（978-4121903853）。

参考WEBサイト（サイト名・URL）

Web Gallery of Art : <https://www.wga.hu/>